

# 浜松情報

4月1日 第574号



<http://www.hamajyo.com/>

人物アツプ

浜松鉄工機械工業協同組合の勝山宗一理  
事長。浜松地域の基幹産業である製造業だ

けでなく、幅広い分野の企業で会員を構成。  
今後の更なる発展に向け、辣腕を振るう。



沈滞ムード一転・消費喚起で負の連鎖止めろ

**廃業抑止へ総力戦!**

一期目最終年に挑む影山湖西市長の街づくり

**職住近接で定住増へ**

遠州地域・青年会議所トップの牽引力に期待

**我が街支える若き光**

- ダブルネームで新駅構想?
- 現金化回帰増えるか?
- 防災タワーで安心と安全提供
- 調整不足で弁天活性は延期
- トップ…浜名湖養魚漁業協同組合
- 浜北に道の駅構想?
- 農業新時代
- 春のゴルフ場特集
- 試乗他

# 未来へ向け地域産業を活性

浜松鉄工機械工業協同組合 理事長  
静岡県機械金属工業協同組合連合会 会長  
カツヤマファインテック(株) 取締役会長

## 勝山宗一氏



かつやまそういち：昭和32年生。浜松市出身。平成2年、勝山金属工業(株)代表取締役社長就任。平成3年、カツヤマファインテック(株)に社名変更。平成24年、同社取締役会長就任。平成30年、静岡県機械金属工業協同組合連合会会長就任。令和元年5月、浜松鉄工機械工業協同組合理事長就任。

今に至っています。  
— 会長はおいくつですか？  
63歳です。

— 本業はもちろんですが、組合の仕事に加え、司会、タレント業などもエネルギーギッシュに活動されていますね。  
— 司会やタレント業は、ほぼ

ボランティア  
— アイアです  
が、自ら  
発信する  
事の大切  
さを感じ  
ています  
し、地域  
が少しで  
も盛り上  
がるよう  
に、楽し  
い事のお  
手伝いが  
できれば  
良いです  
ね。

— ご経歴

— 浜松鉄工機械工業協同組合の理事長に就任したのはいつですか？

— 昨年の5月です。杉田哲朗前理事長からバトンを受けたのですが、前理事長の代行としての仕事も多少はしていましたし、理事の経験もありましたので、違和感なく職に就けました。

— 何代目の理事長になるのですか？

— 9代目ですね。5代目理事長である第一工業の鈴木章司氏の時から理事長に仕えて組合の仕事やらせてもらっていましたが、組合の内部事情や課題などは分かっています。

— 就任前には、静岡県機械金属工業協同組合連合会の会長に就任しています。

— 歴代理事長はそうそうたるメンバーですね。先行して他の要職にも就いていたという事は、満を持して期待の大きい就任でしたね。

— 若返りを図るといふ言葉は逃げ言葉だと思えます。実際にトップが若返ってもそれ以外に要職にベテランがいるケースも少なくなく、真の若返りと言えるのか？

— 当組合では、7代目の和久田健司理事長の時代に本格的な若返りが図られ、杉田さんの時にそれが更に強化され、

— を教えて下さい。

— もともと大橋巨泉さんの9番目の弟子として、歌手や司会など芸能活動を行っていました。「世界まるごとHOWマッチ」という番組への出演がほぼ決まった時に、父と母からの要請で会社に戻る事になり、会社を継ぐ事となりました。

— 異色の経歴ですね。

— 異色中の異色ですよ。浜松に戻り、会社に入ってから母に連れられてスズキ自動車さんにご挨拶に伺ったのですが当時の社長だった鈴木修会長に芸能界からの転身だと伝えると、「3日と持たんよ」と

表紙の人

INTERVIEW

<http://hamabiz.com/>

はまびズ  
公開中!

地域密着の姿勢を貫く

冗談を言われました。今でも会長にお会いすると、その事は覚えて頂いて「当時は3日と持たないと思っていたが、よく続いているし、頑張っているね」と笑って話をして下さいますよ。

— 全く違う世界からの転身が逆に良かったのでしょうか？  
会社に入ってから、ある

意味新鮮でしたし、芸能活動で培ったものが役立ちまして現場に顔を出して社員に声掛けする上でも明るく接していますし、それは今でも続いています。「会長と話すのが楽しい」と言ってくれる社員もいて、ありがたいです。言葉で盛り上げる事で、良い関係性が築けています。

— 組合の中での理事長の存在感というのも大きいのではないかと思います。

副理事長をずっとやらせてもらいましたが、色々な葛藤もありました。会員は皆、一國一城の主の集まりですからまとめる事はなかなか難しい面があります。その中で少しずつ旧態依然とした体制を改善してきたつもりです。

— 理事長に就任されて、どのような施策を打ち出していますか？

組合の基本姿勢は地域密着です。そして、色々な業種、職種の組合員がいます。「浜松鉄工機械工業協同組合」という名称からも、製造業を中心とした会員が多い事は確かなのですが、そのイメージにこだわらないようにしたいと考えています。

我々は、色々な業種や産業の皆様に対しても、例えば、海外進出している事例として組合加盟企業の様子を知りたいという異業種の方にも門戸を開きたいと思っています。そういった「鍵を外す」事によって可能性を広げる事は、

私が芸能界で色々な世界を見て、経験した事が根底にあります。

— 生きた情報を得られ、経験を積む事ができるのですね。

海外進出については、絵に描いた餅をただ見ているでもそれは意味のない事で、百聞は一見に如かずだと思うので、こういう部分は公開して興味のある方がいらっしゃれば受け入れるつもりです。

— 理事長の会社（カツヤマフアインテック）は平成6年に初めてタイに進出されましたね。当時は、非常に早い進出だったのでは？

プラザ合意後の第2次の進出タイミングでしたが、中小企業では静岡県でトップクラスの早さでした。海外進出に関して、いわゆる下請け企業が大手についていくかどうかを判断する以前のタイミングでしたね。

— 当社は3次下請けではありませんでしたが、全メーカーのシートベルトを取り扱っていた事も大きかったですね。とにかくコストダウンのためには必要な判断でした。

— 進出先がタイとなった理由を教えてください。

当初は台湾や韓国に進出しませんか？という誘いもありました。どちらにも実際に行き、色々調べましたが、結局は生産の余剰枠がどれだけ大きいかが？だと考えました。台湾にも韓国にも、我々が生産している日本の自動車メーカーのシートベルトの部品を作っている企業がすでに取りましたが、タイには、まだそういった企業がなかったため、当社が入り込む枠があったという事が決め手となりました。

— 進出して四半世紀ほど経つ訳ですが、現状はいかがですか？

今、現地には800人ほど従業員がいますよ。成長を遂げる事ができ、ありがたいですね。

— その後、インドネシアにも進出されましたが、こちらへの進出も同じような経緯でしょうか？

同じような感覚ですね。やはり我々のような中小企業が海外に進出するリスクは大きいと思いますが、将来の事を考えれば、立ち止まっている

**FLOWER SHOP**

**HANASEI**



本社: ARITAMA FACTORY 東区有玉南町1229-2 053-432-1187  
 FLOWER STUDIO 遠鉄百貨店本館B1F 053-457-5277  
<http://www.11-hanasei.co.jp>

表紙の人

INTERVIEW

http://hamabiz.com/ ID:hamabiz PW: HJ02574

はまびズ  
公開中!

時代に沿った組織運営を

暇はありません。  
—このような海外での経験を組合の中にフィードバックしていくという考えはありますか？

当然あります。私の経験を若い人達にも話していきたいですね。ただ、実際には海外に進出したくても出られない企業も多いと思います。その決断のきっかけとなり得るのは、やはり「話を聞く事」と「実際に見る事」だと思います。こういった思いから、当組合では毎年、海外視察を行っています。

—昨年はこちらに行かれたのですか？

ベトナムです。その前がタイ、他にもインドネシア、インドにも行っていますし、今年もフィリピンの予定です。一度視察した後、また改めて見てもらう事も大切で、その成長度合いを分かってもらえるのではないのでしょうか。当社の工場ですら大きく変わっています。

当社の工場では、当初工場の敷地内に大きなサッカー場を作ったのですが、これは地元の従業員確保のためのルートに大変効果的でした。しかし、今では工場の規模が大きくなり、そのサッカー場はビーチバレーコートほどの大きさに縮小しました。つまり、この数年でそれだけ変化が大きいという事です。現地状況を一度見てもらえば、次に見た時に変化がより分かってもらえると思いますし、これは非常に大切な事ではないでしょうか。

—組合としての援助方法として非常に有益ですね。

最終的に進出するかどうかは経営者の判断になりますがその判断材料として人から聞いたたり新聞で読むより、はるかに正確な基準になると思うのです。そういう経験を組合員にはさせてあげたいと考えます。

—他に力を入れている事は？

情報発信です。情報は待っているでも来ませんし拾えませんが、自ら軍手をはめて現場に入り、汗を流している組合員もいますから、そういう人のためにもどんな情報は出していくというスタイルです。今は、新型コロナウイルスへの対策も含めて、情報発信を積極的に行っています。どの情報が当組合にとつて必要で有益なのかを精査する必要は大いにあると思いますが、リーマンショックの時にも助

成金の情報を早に出す事ができました。こちらから発信する確実な情報提供というものは続けていきたいです。  
—その辺りは組合に加盟する大きなメリットですね。

当然の責務です。今回のコロナの件も、まずは「御社の状況はいかがですか？」と組合員全員にアンケートをとつて、その現状や要望をまとめつつもります。こういった動きはコロナだからという訳ではなく、どのような事にも応用が利くでしょう。

先日、ある会合で意見を求

められた際、「この会議を行い、色々な意見討議をしたという既成事実が欲しいだけでは困る。我々にとつては現場として具体的に何をしてくれるか？に繋げないと意味がない」と話しました。我々としては、常に現場の声を吸い上げ、発信したり伝えていかなければいけないと強く感じています。

例えば、「働き方改革」と一口に言っても、それは中小企業にとつて現実的なものなのかどうか？本質を捉えた議論を各会でするように心がけています。

—発言力のある理事長で会員も心強いでしょうね。

当たり前の事を言っているだけです。これも芸能界での経験や、母から学んだ部分が多いのかもしれない。

—後継者問題や人手不足に関してはどうお考えですか？

深刻ではありますが、人材派遣会社が当組合の賛助会員として加わりましたので、確かな生の情報をもとに施策を展開していきます。

—賛助会員という制度もあるのですね。

そうですね。遠くは焼津の企業も賛助会員になってくれました。このように、希望する方には積極的に門戸を開いていますよ。

—会長の名調子と元気が求心力となり、組合や地域全体を明るくしますね。

ありがとうございます。